



三島地区コミュニティだより



# 道標

第 1 5 0 号

創刊日 昭和63年 6月20日

発行日 令和 4年 3月20日

発行責任者 三島地区コミュニティ広報部

■■ コロナ禍が続く中、コミュニティや自治会の多くの行事・活動が自粛を余儀なくされましたが、令和4年度中の主な活動を紹介します。 ■■



**春**  
サルビア  
マリゴ -ルド  
(6月8日)

## ◆ 花いっぱい運動 ◆

三島小・中の児童生徒の皆さんが花をプランターに植え付けました。三島公民館の他、各自治公民館に飾っていただきました。

**秋**  
パンジー  
(11月11日)



## ◆ 三島小 七夕飾り ◆

三島小児童が作成した七夕飾りを、7月3日(土)にPTAおよびコミュニティ有志の皆さんが飾り付けをしました。



## 田んぼの学校



12月25日(土)恒例のしめ飾り作りを行いました。



◆◆ 恒例のイルミネーションをまちづくり部の皆さんが三島公民館エントランス横に設置しました。点灯中です。 ◆◆



# 三島地区作品展

三島コミュニティまつり部主催



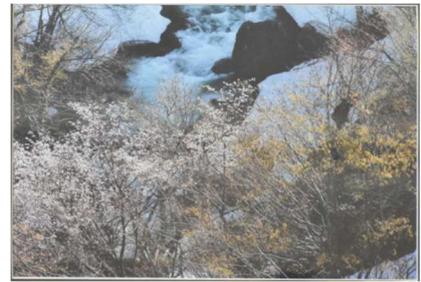
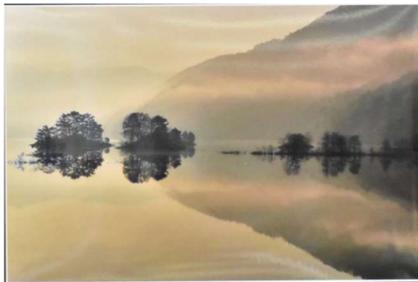
赤ぼと  
ん  
しゅんき

琉カ  
走



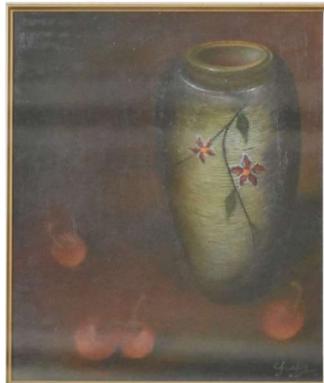
鏡花  
水鏡  
月花

琉稀  
冬至



明月故郷夢  
紅葉村  
永子忠

落葉樹  
冬木立  
咲季菜



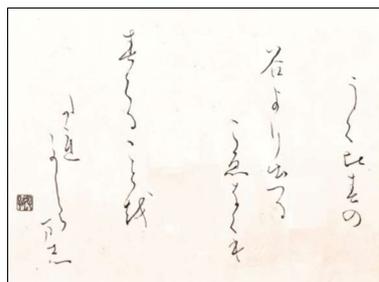
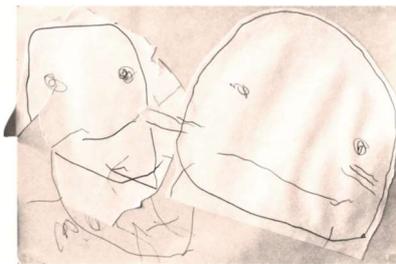
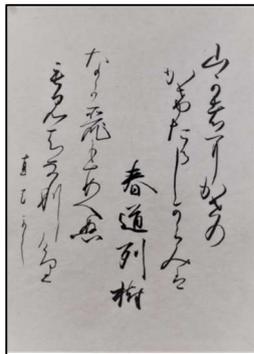
思考創  
造精神  
結奏

笑  
あがた  
わたし  
と  
笑  
がた  
い  
も



◆地域の皆さまからの多くの作品応募をいただきありがとうございます◆

●●三島公民館「1階図書コーナー横」に3月末まで展示して  
いますので、お気軽にお越しください●●



■お知らせ■ 作品のカラー版は那須塩原市ホームページ内「三島公民館」のページに掲載されています。また「道標」のカラー版も同じページに掲載されていますので、どうぞご覧ください。

## ● **西三島**： ～ ファミリーハイキング ～ **11月20日(土)**



秋晴れのもと、40名が参加して日本遺産に登録された市内の「自然ふれあい将軍ルート」をハイキングしました。大山公園の紅葉のトンネルを通り、石林の乃木神社・乃木別邸と静沼へ。帰路は、ぽっぽ通りをウォーキングし、晩秋の半日を楽しく過ごしました。



## ● **東三島**： ～ 輪投げ大会 ～ **11月21日(日)**



コロナが下火になりつつあった日曜日、キョクトウ三島スポーツパーク(三島体育センター)体育館で輪投げ大会を実施しました。中学生を含め54名が参加し、個人および団体(グループ対抗戦)の優勝を目指して楽しい時間を過ごしました。



## ● **南郷屋**： ～ 住民助け合い事業 ～ **11月26日(金)**

事業の一環として、今年度は地域内にある介護施設「小規模多機能型居宅介護事業所 みんなの家」を民生委員を含む6名で訪問し、交流を行いました。施設長から施設のサービス内容・事業の紹介をしていただき、自治会としても介護施設への理解を深め交流することの大切さを実感する施設訪問でした。



サービス内容・事業の紹介をしていただき、自治会としても介護施設への理解を深め交流することの大切さを実感する施設訪問でした。

## ● **東赤田**： ～ 恒例の新年交流会 ～ **1月9日(日)**



感染防止を徹底して開催しました。輪投げや的あてゲームなどを楽しみ、最後は全員でのビンゴゲームで大いに盛り上がりました。久しぶりの交流に互いの健康を確認し合いながら会話も弾み、活気に満ちた新年のスタートとなりました。



**編集後記** 新型コロナウイルスに翻弄される未曾有の出来事から3年目の春です。学校や地域は活動を制限され、自由に出掛けることさえ控えめな暮らしが続いています。終息の兆しも見えてこない中での東京に続いて北京でのオリンピック開催は、世界中に大きな感動と共に希望と勇気をもたらしてくれました。お互いの考えや気持ちを伝える意思の疎通や心の通い合いであるコミュニケーションの大切さを共有して、私たちの住む街が一層暮らしやすくなるよう願っています。(T/H)